

『キャンプ』（9月14日配信）

こんにちは、戸田です。よろしくお願いします。
今日はキャンプでのトラブルについてお話します。
5月に私たち家族と友人家族たちで栃木県的那須にある毎年行く大好きなキャンプ場を予約して行きました。

ほかのキャンプ場は入場が1時などですが、そこは早い時間に入場することができます。朝10時には入場しようとなり、早朝に出発しました。朝10時には各家族がキャンプ場に到着しました。テントを立てるのですが、本来自分のテントは自分で立てます。しかし、風が強く、今まで利用してきたなかで、こんなに強風なことはありませんでした。個々でテントを立ててなにかあってはまずいので、協力して1つ1つテントを立てることにしました。

まずは友人のテントを立てます。強風のなかポールを通し、立てようと持ち上げた時です。強風に煽られてポールが折れてしまいました。全員が折れたポールを見て茫然としています。折れたものはくっつきません。強風の中で立てるのは危ないと判断しました。スマホで予報を確認すると昼を過ぎても強風はやまないようで、今は立てられません。悩んだ結果、お昼にすることにしました。屋外ではとても食べられないので、キャンプ場の建物内でお昼にしました。外はまだ強風です。ほかのお客さんもテントを立てられない状況で、このままお昼を食べて帰るのかとひやひやしていました。ひとまず、折れたポールの処置をしなければなりません。友人がひらめいたのは、折れたポールの周りに添木のようにペグを数本一緒に巻きつけて固定する方法でした。テープだけで折れたポールを巻いてもすぐに折れてしまいますが、ペグと一緒に巻くことで使用できるように補強されました。でも、できるのはそこまでです。スマホで予報を見ていると夕方4時ごろに風が収まりそうだとわかりました。

4時になり、風が収まったのを見計らって一気にテントを立てていきます。無事に全員分のテントを立てることができました。帰らずに泊まることができました。ほかのお客さんも同じタイミングでテントが立っていきました。朝10時に到着し待ちに待って、やっとのことで4時に立てることができました。夜にキャンプができて良かったです。

強風の時にテントを立てるのは危険だと学びました。今後も同様のことが起きるかもしれませんので、アウトドアショップにて、ポールが折れた時の応急処置グッズを購入しました。今後強風で折れた時の備えをしました。強風には注意しなければいけないと、反省したキャンプでした。